学校給食
自校方式から給食センター方式に転換
安心安全が脅かされる

石井としお通信

長生村七井土１３８７－２ 電話 090-3094-0321 部内討議資料 石井としお後援会発行

小中学校保護者の皆様
本当にいいんですか？

石井としおは村長時代、子どもたちに安心・安全な給食を提供するため、自校方式にこだわってきました。今、小高村政はこれをセンター方式に突然切り替える方針を打ち出してきました。

（学校給食の方式）

○自校方式…各学校でそれぞれ調理室と調理人を配置して、子どもたちに給食を提供するシステム。

○センター方式…集中調理室を設け学校給食を一括して調理し、各学校に配送するシステム。

このセンター方式にはいろいろと問題があります。その際たるものが**細菌性食中毒の集団発生です。**

この５月には福井県若狭町において導入されている町内にあるセンター方式で作られた学校給食が原因と疑われている集団食中毒が発生しました。

福井・若狭町集団食中毒発生

福井県若狭町の８小中学校で発生した集団食中毒で、町教育委員会は２４日、ノロウイルスが原因だったと発表した。今後、給食を調理した給食センター内の消毒や衛生管理の強化を進める。

町教委によると、給食センターの調理員３人と、児童生徒７人からノロウイルスが検出された。また、これまでに食中毒の症状を訴えたのは２８７人に上ったという。町教委は各校に感染の拡大防止に向けて注意を呼びかけたほか、週内にも保護者向けの学校説明会を開く。８小中学校は当面の間、弁当持参で対応する。

（朝日新聞）

小中学校８校の子どもたちや教職員が下痢や発熱などを相次いで訴え、そのうち、１人の児童は入院しています。

石井はセンター化反対

このように学校給食をセンター方式に長生村が切り替えた場合、ひとたび食中毒が発生すれば、たちどころにその被害が長生村全校の児童・生徒たちに波及してしまいます。

そこにあるのは安心・安全を考えない効率化という名のもと、保護者様や子どもたちを置き去りにしていくことだけです。しかも！その費用が何と６億円というから驚きを隠せません。

さらに、センター化すれば調理してから子どもの口に入るまで２時間かかるのが常識です。

作る人と食べる子供たちの顔がみえなくなること、調理する方から見れば、今日は食べ残しが多い。今日は全部食べてくれた。子供たちの顔が見えます。学校から離れて子どもたちの顔が見えない、声が聞こえないところで大量一括調理する必要があるのでしょうか。調理後の配達で味を低下させます。

６億円の建設費はムダ

村は今年度当初予算に２７７万４千円を計上し、４年間で総事業費６億４１８７万円をかけて学校給食センターの建設をすることになっています。

６億円の建設費はムダな投資です。

石井としおはこのセンター方式導入には断固反対します。必要ならば調理室の改善も行います。費用は6億円もかからないはずです。**子どもたちには、効率化より常に安心・安全を提供すべきです！！**

村民の声を紹介します

・村が自校方式を廃止してセンター方式にすることを知りませんでした。

・茂原市が自校方式を廃止してセンター方式になりましたが美味しくないと聞いています。自校方式がいいですよ。

・作る人と食べる子供たちの顔が見えることはいいことだと思います。

・２２日の演説会でも若いママさんが言っていました。「おばちゃんの顔が見える給食が良い」私もそう思います。

・「匂いを感じる給食」いいですね。自校方式を残してほしいです。

・食中毒が広がることが怖いです。

・石井さんの迫力ある反対根拠を聞きますと、そうだなと思いました。

方式別のメリット・デメリット

方式 内容	現自校方式	新センター方式
食育	食材を作る側と食べる側の顔が見え匂いが感じられます。	生徒が調理の過程に接する機会が少ない。給食の匂いを感じられません。
献立	調理数が少ないので手作りを含めて多様な献立が可能。	大量調理の為、各学校別の調理品目を作ることが難しくなる。
適温提供	暖かい、冷たい、適温で児童・生徒に提供できます。	各学校への配送距離にもよるが、適温の確保が難しい。
衛生	調理から摂食までの時間が短く食中毒が発生しにくい。発生しても単独校でおさまる。	調理から摂食まで時間がかかるために食中毒発生の可能性が高まる。発生すると全提供校に広がる。

こんなにも違う！　石井としおと小高村長の政策

項　　目	小高陽一現村長	石井としお前村長	その影響や一言
①村長公用車	６００万円の高級ワンボックスを税金で購入。運転手付き。	黒ヌリ高級車と運転手を廃止。２００万円台の車で仕事する。	石井としおは自ら節約し、税金のムダを省いた８年間でした。
②認定こども園	認定こども園（１０億円）を建設し、今ある３つの保育所を廃止。１つに統合します。	認定子ども園は凍結し、３保育所を残すかは、保護者の意見を聞き、判断します。	認定こども園ではマンモス化し、きめ細かな子育てと教育が困難。
③村長相談室と職員研修	いずれも廃止した。	村長相談室と職員研修は再開します。	時間を設けて村民の声を聞く村長相談室は大事です。職員資質向上の勉強は必要です。
④学校給食問題	４つの自校給食を廃止し、センター方式に切り替える。	現在の自校方式を残し守る。	効率化より子どもたちの安心・安全を守ります。
⑤保育料について	第３子は３歳以上の保育料を無料にします。	第２子より段階的に無料とします。	子どもは長生村の宝、予算投入を増やすことが大事です。
⑥高齢者福祉	現在の外出支援と福祉タクシーの充実、乗合タクシーを検討。	デマンドタクシーによる、自宅（行き）から自宅（帰り）までのサービスを実施します。	高齢者一人ひとりを見捨てない村づくりが必要です。
⑦八積駅整備	駅周辺の整備や認定こども園、給食センター、中央コミュニティセンターなど４４億円をかけ５年間で建設する。	駅周辺の整備は村民公募で幅広く意見を聞き、納得づくで、進めます。４４億円の建設費はあまりにも莫大です。	駅は宝です。お年寄りが困らずに利用できるようにすべきです。丁寧かつ慎重に進めることです。
⑧太いパイプ？問題	国・自民党と連携して補助金を取ってくる。	合併問題では村民との太いパイプで合併を阻止しています。常に村民の声を聞きます。	市町村長がだれでも補助金率は決まっています。小高さんだから補助金が貰えるのではありません。
⑨幸福の科学課税	「課税して裁判で決着する」が一転し、独断で寄付１億円を貰う。	国税法があり課税はムリです。と表明。石井の見解が正しかったことが、証明されました。	小高さん公約違反です。村民にウソをつき選挙でまどわしました。
⑩合併問題	合併反対→合併賛成→村長選挙で反対→反対と言った覚えない	過去も、今も、今後も合併を進めません。	村民の一番の関心ごとです。一貫した主張が大事です。
⑪原発問題	私は自民党なので原発再稼働賛成です。	原発再稼働反対です。	再び事故があれば日本中が住めなくなります。
⑫平和問題	５月１５日の決起集会に安保法制定の自民党議員を講師に招聘しました。	憲法による平和主義を守ります。	平和と民主主義があって村づくりができるのです。戦争をしない。平和が第一です。

※まだまだあるのですが、紙面の関係上書き切れません。石井としおは村長時代、自らも節約に励み（黒塗り高級車や運転手廃止等）村民と一体になり７億円を貯蓄してきました。これが現在の小高村政に活きているはずです。この４年間全国各地の自治体に出向き一生懸命に勉強してきた知識と経験を長生村民のために、今後最大限に発揮していきたいと思います。

ながいき瓦版への反論

①太いパイプで補助金をとってくる。とのこと。全国市町村長だれでも補助金率は同じです。小高さんだから補助金がもらえるものではありません。

②村長公用車は「動く村長室」「高級ワンボックスは必要」「運転手も必要」とのことです。３００万円でも購入できます。各種会議には通常、担当課長などが同行しドライバーを努めていただきました。専属運転手は必要ありません。

③小高村長の財源づくり「村長給料カット１９００万円」とのことです。石井としおは命がけで合併を阻止し財政改革で７億円もの預金を増やしました。数字の桁が違います。

④中学校の屋根破損問題は石井通信１０９号に見解を書いてあります。

いき活き元気演説会盛会

５月２２日、文化会館で開催された演説会には元国立市長の上原公子さん、来賓、支援者多数の激励で盛会でした。石井としおは６月の村長選挙に向け決意をのべました。熊本地震災害の義援金３万５１０３円集まりました。ありがとうございました。現地に送りました。

出陣式のご案内

◎６月１４日　午前９時３０分より
◎場所　石井としお事務所。七井土１９８３の１　電話３６―７２２２
◎ご近所、皆様より激励をお願い申し上げます。

やっぱり石井！